

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム風のコテージ

ユニット名 A棟・B棟

作成日: 令和元年 10 月 16 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	オール電化なので、電気が使えないときどうするか。緊急時の連絡体制、避難経路、水害、土砂災害時の対応について不十分である	災害時困らないように、いざというとき備えて、日頃から避難経路の確認や優先順位を考えて行動できるようにする。	災害時に必要な物品の用意。避難経路の確認。緊急連絡網の確認。災害防災責任者のやるべき事や、予測できる災害時の対応方法を明記する。利用者や従業員の安全を第一優先とし、災害後もできるだけ通常の業務に戻れるような強力体制を取れるよう訓練する。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。